

## 本日の論点

資料2「阪神新地域ビジョン骨子案のイメージ」、資料3「第4章 阪神新地域ビジョンの実現に向けたシナリオ」に関する各資料の構成の妥当性（章立てや柱立てに関する過不足等）も含め、以下の事項をご参照の上、審議いただくようお願いします。

なお、各章の方向性として、【全県参照】は全県版のビジョンや他の地域ビジョンを参考とし、【地域独自】は阪神地域独自の内容を検討することとして作成しています。

区 分	案の考え方	ご検討いただきたい内容
【全県参照】 第1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神新地域ビジョンを策定する経緯を記載する。</li> </ul>	（特記事項なし。）
【全県参照】 第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>テクノロジーの進化等、分野によっては地域の枠に収まらない社会潮流があるため、本案では全県版ビジョンの内容に合わせている。将来を描くビジョンであるため、「ピンチはチャンス」の流れで、①現状・問題（ピンチ又はニュートラルな内容）、②2050年に向けて（チャンスの内容）の2項目で整理している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神地域特有の社会潮流があれば記載すべきかどうかについて。また、その内容に関するご意見について。</li> <li>「ピンチはチャンス」の2段構成で現状の把握を行っている点について。</li> </ul>
【地域独自】 第3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神地域の特性を記載する。第4章の4つの柱立てのいずれか（又は複数の柱立て）に関連する項目として、6つの視点を記載する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神地域の特性として記載すべき内容について。</li> </ul>

区 分	案の考え方	ご検討いただきたい内容
<p style="text-align: center;">【地域独自】 第4章</p>	<p>【シナリオの詳細は「第4章 阪神新地域ビジョンの実現に向けたシナリオ(案)」に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの審議状況を踏まえ、「コ・クリエーションなまちの実現～住んでよし、働いてよし、集ってよし～(仮称)」を上位理念として位置づけた上で、4つの柱立てにまとめている。各柱立てには、ストラテジック(戦略的)になるよう、現状→中間像への取組→中間像(2030～2040年頃)→将来像への取組→将来像(2050年頃)の流れでシナリオを記載している。</li> <li>・第3回検討委員会の審議を踏まえて柱立ての大枠が確定した後、シナリオ内容を精査する(現時点ではイメージ)。</li> <li>・下線箇所のとおり、未来ミーティングからの意見も十分に取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シナリオの流れ自体について。</li> <li>・シナリオの流れを、現状→中間像への取組→中間像(2030～2040年頃)→将来像への取組→将来像(2050年頃)としていることについて。</li> <li>・柱立てやシナリオテーマの過不足について。</li> <li>・阪神地域の特性として記載すべき内容について。</li> <li>・阪神地域ではどのシナリオを重視するか、あるいはどのシナリオが特徴的かについて。→「第4章 阪神新地域ビジョンの実現に向けたシナリオ(案)」のシナリオテーマに記載した番号①～⑭のうちから選択</li> </ul>
<p style="text-align: center;">【地域独自】 第5章</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定したビジョンを多様な主体と共有し、実現させるための方策や行政の基本姿勢を記載する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いかに多様な主体と共有し、実現させるかの方策について。特に、これまでの審議でもご意見のあった子どもや関心の無い人々との共有方法について。</li> </ul>